

幸報ふじ

発行：佐賀市富士支所
 編集：幸報ふじ事務局
 (一般財団法人スマイルアース)
 TEL：0952-57-2341
 FAX：0952-57-2217
 hoonoki@smile-a.org
 住所：富士町藤瀬724-4

山の図書館で、読書の夏を過ごしませんか？

今回は、私が富士町で最も好きなスポットといっても過言ではない「富士館」で、お話を伺ってきました。



富士館スタッフ

みなさんは、富士館を利用したことがありますか。富士館は、富士公民館フォレストふじ内にある佐賀市立図書館の分館です。本だけでなく、DVDやCD、雑誌のバックナンバーも「無料で」借りられます。貸し出し期間は2週間。延長の手続きをすれば、さらに2週間借りられます。DVDやLDは、館内で視聴することもできるんですよ。活字の大きな本や暮らしの本、夏にぴったりの料理のレシピ本などもたくさんありますので、これを機会に、ぜひぜひ利用してみてください。

富士館の蔵書は、地元のニーズに合わせるため、農業関係や郷土の本が充実しています。また、フォレストふじで古湯映画祭が行われることから、映画関係の本にも力を入れています。そして、ご自身の曾祖父、森平太郎の半生をモデルにした作品「望郷の道」で古湯とゆかりのある北方謙三さんからご寄付を頂いて購入した本を「北方文庫」として所蔵しています。北方謙三さんは、古湯映画祭にゲストとして何度も来てくださっています。また、大正14年に創刊され、第2次大戦の紙不足で廃刊になるまで約15年間続いた富士町の月間広報誌「北山公論」の原本も所蔵。富士町の発展に大きな役割を果たしたこの「北山公論」は、パソコンでも全号閲覧できます。



映画コーナーの棚とパソコンコーナー

富士館は、火曜日から土曜日までは10時から18時まで、日曜日は10時から17時まで開館しています。毎週月曜と毎月最終木曜は休館です。その他、館内の特別整理期間や年末年始などのお休みがありますので、館内でもらえる開館カレンダーや回覧でも廻ってくる富士館発行の「ほんの森通信」をご確認ください。

ほんの森通信
 夏の抽選会
 夏休み子どもワークショップ
 ぐまどカッパのカードをつくろう！

晴好雨奇 ふじ俳句同好会(二十六)
 梅雨晴の風鈴まつりや露路のかぜ
 立石慶喜
 山峡の峰々越ゆるる白い梅雨
 水田利穂



富士館には館長の副島さんと3人の司書、野中さん、池町さん、岡本さん計4名のスタッフがいらっしやいます。富士館スタッフのみなさんに、おすすめの本や子どもの頃の夢、読書以外の趣味、読書の魅力などについてインタビューしてみました。

Q. 子どもの頃どんな本が好きでしたか、あるいは今、どんな本がお好きですか？
 副島さん：北方謙三さんの「三国志」やデビューの頃のハードボイルド系が好きでした。
 野中さん：子どもの頃は、村山早紀さんの「魔法少女マリリン」シリーズ、ミヒヤエル・エンデの「モモ」が好きでした。

池町さん：お菓子作りの「わかつたさん」シリーズ。わかつたさんの作るホットケーキがとっても美味しそうで、借りてきては楽しんでいました。子どもの頃は物語をよく読みましたが、今は料理や健康などの実用書が好きです。

岡本さん：小学校の図書室に新しく入った神話図鑑全集の絵がとてもきれいで、少しずつ読んで楽しんでいました。

Q. 子どもの頃の夢は何でしたか。
 副島さん：とにかく大都会に出てみたい、と思っていました。
 野中さん：学校司書さんを見ていて、中学生の頃から司書になりたいと思いました。短大で資格を取り、卒業するときにちょうどこの富士館ができるということになりました。

池町さん：小学校の頃からずっと図書館が好きでした。いろんな本があって静かな図書館の雰囲気が好きで、大学で資格を取って司書になろうと思うようになりました。



富士館入口

岡本さん：幼稚園の先生やお菓子屋さんなど、身近な憧れが私の夢でした。

Q. 読書以外の趣味を教えてください。
 副島さん：稲作りが私の趣味です。趣味の農業。
 野中さん：趣味はポストカードを集めるのが好きで、ときどき富士館の館内に飾ったりしています。

池町さん：ウォーキングです。
 岡本さん：小学生のときに運動会でするマーチングに憧れて、中学校でフラスバンドに入りました。楽器はクラリネットです。少しの間、消防署音楽隊にも入っていました。

Q. 読書の魅力とは何でしょうか。
 副島さん：最近実用書を読むことが多いですが、いろいろな気づきがあって面白いです。
 野中さん：知らない世界を知ることができることです。
 池町さん：夢中になって本の世界に入り込んだら、幸せな気持ちになって現実の世界に戻って来られるところです。
 岡本さん：情報だけほしいのであれば、ネット検索もあります

が、読書には、ページをめくる、字を追う楽しみもあります。思いがけない出会いがあるというのが、読書の魅力だと思います。

また、利用者の方々に知っていただきたいことをお訊きしたところ、

「富士館では、幼児から小学生向けのおはなし会やワークショップ、抽選会などのイベントも行っていきます。ご自分ではなかなか買えない紙芝居も借りることができそうです。小さなお子さんがいらっしゃるご家庭のみなさまにもっと富士館を活用していただけたらうれしいです」

ということでした。それから、「もしも借りた本が破れてしまった場合には、慌てないでください。自分で直そうとせず、そのまま破れた箇所を本にはさんで、富士館に持ってきてください」ということです。普通のテープで貼ると時間の経過で茶色くなってしまふのですが、修理専用のテープで貼ればいつまでも茶色くならないのだそうですよ。

富士館まで足を運ぶことができない、という方は、月に一度、富士小学校、富士大和温泉病院、下小副川公民館、大串公民館、小中一貫校北山校にやって来る自動車図書館「ブーカス号」をご利用ください。なんと4千冊もの本を積んで巡回するブーカス号。借りた本は、次の巡回のとき(1か月後)まで借りられます。

暑い夏のひととき、静かで涼しい富士館で過ごすみてはいかがでしょうか。

(記事 恵良五月)

